

安全データシート
大腸菌選択性凍結乾燥培地含有プレート（クオリサーチ 大腸菌数測定キット）

2020年8月制定 ver.1.1

1. 製品及び会社情報

製品の名称	クオリサーチ 大腸菌数測定キット
該当コンポーネントの名称	大腸菌選択性凍結乾燥培地含有プレート
会社名	セルスペクト株式会社
住所	岩手県盛岡市北飯岡2-4-23
担当部門	研究開発部
電話番号	019-681-2088
商品コード	RECEL964
緊急連絡先	セルスペクト株式会社

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	酸化性固体	区分3
人健康有害性	急性毒性（経口）	区分4
	急性毒性（経皮）	区分3
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（血液）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（血液）

環境有害性	水生環境急性有害性	区分1
-------	-----------	-----

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：	なし	
------------	----	--

注意喚起語：	危険
--------	----

危険有害性情報：	飲みこむと有害 火災助長のおそれ：酸化性物質 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い 臓器の障害 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害
----------	---

注意書き：	【安全対策】 熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。 衣類、可燃物などから遠ざけること。 可燃物との混合を回避するために予防策を取ること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 使用前に取り扱い説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 保護手袋を着用すること。保護眼鏡または保護面を着用すること。保護手袋/衣類を着用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
-------	--

【応急措置】

気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合は、医師の手当てを受けること。

眼に入った場合は、水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で急速させること。

火災の場合：指定された消化剤を使用すること。

【保管】

施錠して保管すること。

直射日光を避け、密閉して冷蔵保管すること。

【廃棄】

内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質／混合物： 混合物

成分名	化学特性または化学式	含有率 (%)	C A S 番号	官報公示整理番号
ペプトン	-	5.00%	73049-73-7	N/A
塩化ナトリウム	NaCl	5.00%	7647-14-5	(1)-236 (化審法)
ビルビン酸ナトリウム	CH ₃ COCOONa	1.00%	113-24-6	(9)-1079 (化審法) (2)-1505 (化審法)
リン酸二水素カリウム	KH ₂ PO ₄	1.00%	7778-77-0	(1)-452 (化審法)
リン酸水素二カリウム	K ₂ HPO ₄	4.00%	7758-11-4	(1)-452 (化審法)
硝酸カリウム	KNO ₃	1.00%	7757-79-1	(1)-449 (化審法)
ラウリル硫酸ナトリウム	NaC ₁₂ H ₂₅ SO ₄	0.10%	151-21-3	(2)-1679 (化審法)
IPTG	C ₉ H ₁₈ O ₅ S	0.10%	367-93-1	N/A
MUG	C ₁₆ H ₁₈ O ₈	0.10%	6160-78-7	N/A

本製品の補足的な成分の中には、現在の知識の範囲および該当する濃度において、このセクションで報告が義務づけられている健康 または環境に対して有害危険性であると分類される成分は含まれていません。

暴露限界がある場合、セクション 8 に記載されている。

4. 応急措置

吸入した場合： 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸 あるいは酸素吸入を行う。
救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険 がおよびことがある。
医師の診断を受ける。
意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや 横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。
気道を開いた状態に維持する。
襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。
火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。
暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

皮膚に付着した場合： 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。
汚染された衣服および靴を脱がせる。
汚染された 衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
少なくとも 10 分間洗い流し続ける。
医師の診断を受ける。
衣類は、再着用の前に洗濯する。

靴は 再使用前に十分に洗淨する。

- 目に入った場合： すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。
コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。
少なくとも10分間洗い流し続ける。
医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合： 水で口を洗淨する。
入歯をしている場合ははずす。
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。
嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。
医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。
医師の診断を受ける。
意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。
意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。
気道を開いた状態に維持する。
襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

予想される急性症状及び遅発性症状：

【起こりうる急性毒性】

- 吸入した場合： 重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚に付着した場合： 重大な作用や危険有害性は知られていない。
目に入った場合： 強い眼刺激。
飲み込んだ場合： 重大な作用や危険有害性は知られていない。

【過剰ばく露の徴候/症状】

- 吸入した場合： 胎児体重の減少、子宮内胎児死亡の増加、骨格の外表奇形
皮膚に付着した場合： 胎児体重の減少、子宮内胎児死亡の増加、骨格の外表奇形
目に入った場合： 痛み及び刺激、流涙、発赤
飲み込んだ場合： 胎児体重の減少、子宮内胎児死亡の増加、骨格の外表奇形

医師に対する特別注意事項：

- 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。
暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

応急措置をする者の保護：

- 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。
救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。
汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 火災に応じた消火剤を使用する。
- 不適切な消火剤： 認知済みのものは無し。
- 火災時の措置に関する特有の危険有害性：
火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
本製品は水生生物に対して有害である。
本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
- 有害な熱分解生成物： 分解生成物には以下の物質が含まれることがある
二酸化炭素・一酸化炭素・窒素酸化物

消防士用の特別な防具と予防措置：

火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。
人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火を行う者の保護：

消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

【緊急時要員以外の人員】

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
周辺地域の人々を避難させる。
関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。
漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。
蒸気や噴霧の吸入を避ける。
十分な換気を行う。
換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。
適切な個人保護装置を着用する。

【緊急時の責任者用】

出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション 8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項：

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。
製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。
水質汚染物質である。
大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

危険性がなければ、漏れを止める。
漏出区域から容器を移動する。
水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。
許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項：

【保護措置】

適切な個人保護具を使用すること（セクション 8を参照）。
暴露を避けること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
妊娠中は暴露を避ける。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
眼、皮膚および衣類に触れないようにする。
蒸気やミストを呼吸しない。
摂取してはならない。
環境への放出を避けること。
当物質の通常の手配中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。
使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性があるため、容器を再利用してはならない。

【一般的な職業衛生に関する助言】

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。
作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。

飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。
同様にセクション 8の衛生措置に関する追加情報も参照。

【安全に保管するための注意事項】

保管温度範囲：2～8℃ (35.6～46.4°F)

現地の法規制に従って保管する。

元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（セクション 10を参照）

および飲食物から離して保管する。

施錠して保管すること。

使用直前まで、容器は 固く閉め封印して保管する。

いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。

ラベルのない容器に保管してはならない。

環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

適切な技術的管理：	ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。
環境暴露管理：	換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。 場合によっては排出物を許容レベル以下に下げするために 煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。
個人の保護措置：	【衛生対策】 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を十分に洗う。 汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。 汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。 作業場所の 近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。 【保護眼鏡/保護面】 リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて、保護具として耐化学物質飛沫よけゴーグルを着用しなければならない
皮膚の保護：	【手の保護具】 リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した 耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。 手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。 あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。 いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。 【身体保護具】 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。 【その他の皮膚保護具】 この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。
呼吸用保護具：	危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側

面を確実にすること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状など：	固体
色：	データなし
臭い：	無臭
臭いのしきい（閾）値：	データなし
pH：	6.7~6.9(20℃)
融点・凝固点：	データなし
沸点/初留点/沸騰範囲：	データなし
引火点：	データなし
燃焼点：	データなし
蒸発速度：	データなし
燃焼性（固体・気体）：	該当しない
爆発（燃焼）限界：	データなし
蒸気圧：	データなし
蒸気密度（空気 = 1）：	データなし
比重（密度）：	データなし
溶解度：	冷水および温水に溶解
オクタノール/水分配係数：	データなし
自然発火温度：	データなし
分解温度：	データなし
粘度：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
安定性：	製品は安定である。
危険有害反応可能性：	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件：	日光、高熱
混触危険物質：	強酸化剤
危険有害な分解生成物：	燃焼などで熱分解すると、一酸化炭素、硫黄酸化物を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
刺激性/腐食性	データなし
感作：	データなし
変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
催奇形性：	データなし
特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	データなし
呼吸に対する危険有害性：	データなし

可能性のあるばく露経路： 経口、経皮、吸入

健康への慢性効果： データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性： データなし

残留性・分解性

ヘプトン	データなし
塩化ナトリウム	データなし
ビルビン酸ナトリウム	データなし
リン酸二水素カリウム	データなし
リン酸水素二カリウム	データなし
硝酸カリウム	データなし
ラウリル硫酸ナトリウム	データなし
IPTG	データなし
MUG	データなし

生体蓄積性

ヘプトン	データなし
塩化ナトリウム	データなし
ビルビン酸ナトリウム	データなし
リン酸二水素カリウム	データなし
リン酸水素二カリウム	データなし
硝酸カリウム	データなし
ラウリル硫酸ナトリウム	データなし
IPTG	データなし
MUG	データなし

土壤中の移動性： データなし

オゾン層への有害性： 該当せず

水生環境有害性

ヘプトン	データなし
塩化ナトリウム	データなし
ビルビン酸ナトリウム	データなし
リン酸二水素カリウム	データなし
リン酸水素二カリウム	データなし
硝酸カリウム	甲殻類(オオミジンコ) TKm = 490 mg/L/48hr (IUCLID, 2000)
ラウリル硫酸ナトリウム	甲殻類(アメリカンロブスター)の96時間LC50=0.72mg/L
IPTG	データなし
MUG	データなし

水生環境慢性有害性

ヘプトン	データなし
塩化ナトリウム	データなし
ビルビン酸ナトリウム	データなし
リン酸二水素カリウム	データなし
リン酸水素二カリウム	データなし
硝酸カリウム	データなし

ラウリル硫酸ナトリウム	データなし
IPTG	データなし
MUG	データなし

その他悪影響：

ペプトン	データなし
塩化ナトリウム	データなし
ビルビン酸ナトリウム	データなし
リン酸二水素カリウム	データなし
リン酸水素二カリウム	データなし
硝酸カリウム	データなし
ラウリル硫酸ナトリウム	データなし
IPTG	データなし
MUG	データなし

1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法：	<p>廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。</p> <p>この製品、製品の溶液 およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める 要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。</p> <p>余剰 またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。</p> <p>管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。</p> <p>不要な包装材料は再利用しなければならない。</p> <p>焼却または埋め立ては、再利用が不可能な 場合にのみ検討すべきである。</p> <p>この材料およびその容器は安全な方法で廃棄 しなければならない。</p> <p>清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意 しなければならない。</p> <p>空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。</p> <p>漏出した物質や 流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。</p>
-------	--

1 4. 輸送上の注意

適用法令：	【UN/IMDG/IATA】 規定なし
使用者のための特別な予防措置：	<p>【使用者の施設内での輸送】</p> <p>直立型の安定した容器に入れて輸送する。</p> <p>本製品の輸送者が 事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。</p>

1 5. 適用法令

消防法：	該当しない
海上安全：	該当しない
労働安全衛生法：	該当しない
腐食性液体：	該当しない
鉛中毒予防規則：	該当しない
四アレルギー鉛中毒予防：	該当しない
製造の許可を受けるべき有害物質：	該当しない
危険物：	該当しない
有機則：	該当しない

化審法： 優先評価化学物質 No.214 (官報公示日：2017/04/03) (ラウリル硫酸ナトリウム)

毒物および劇物取締法： 該当しない

化管法(PRTR法)： 第一種指定化学物質 (ラウリル硫酸ナトリウム)

航空法： 該当しない

16. その他の情報

責任の限定について

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがある可能性があります。また新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく考慮されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

※ クオリサーチは、セルスペクト株式会社の試薬キットの名称です。